

事務事業名	公共土木施設災害復旧事業(H24単独災)	所属部	建設部	所属課	建設事業課	
総合計画体系	政策名	(Ⅱ)環境に配慮した安全・快適な生活環境づくり<<定住環境>>	所属G	工務グループ	課長名	森田 一
	施策名	(07)道路網の整備	担当者名	江角 望	電話番号	0854-40-1063 (内線) 3739
	目的	对生活道路(市道・一般県道)の利用者 市内を安全で迅速に移動できるようにする。	予算科目	会計 款 大事業 大事業 0 1 5 5 0 2 項 目 中事業 中事業 1 0 1 0 0 1	事業名	公共土木施設単独災害復旧事業 現年公共土木施設単独災害復旧事業
	基本事業名	(019)道路の補修・維持管理				
目的	对生活道路 適正に維持管理する。					

1 現状把握[DO]

(1)事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度 ~)
<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (24 年度 ~ 25 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
単独公共災害復旧事業は、市管理の河川、道路がその年の豪雨により小規模な被災を受けた場合、復旧するものである。事業は市の起債と一般財源で行う事業である。 災害復旧の基準としては、日雨量80mm以上、時間雨量20mm以上で、河川の場合は雨量の他に断面積の2分の1以上の流量が必要。また、補助対象(60万円以上)とならないもので、13万円以上の災害の復旧をするものが対象である。

(2)事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	25年度実績(25年度に行った主な活動) 繰越箇所工事監理・精算 20箇所	26年度計画(26年度に計画する主な活動) なし			
	② 活動指標	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
	ア 発注箇所	箇所		20	0	
	イ 完了箇所	箇所		0	20	
	ウ					
	エ					

(3)事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
	災害発生箇所	ア 発生箇所	箇所		20	0	
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
	道路、河川の機能を復旧することによって、安全に利用することができる。	ア 発注率	%		100.0	0.0	
	イ 完了率	%		0	100.0		
	ウ						

(4)事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (25年度決算)	② コストの推移	単位	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(計画)
【H24線】 工事請負費 8,802千円 補償費 128千円 計 8,930千円	財源内訳	千円				
	国庫支出金	千円				
	県支出金	千円				
	地方債	千円		3,500	8,900	
	その他	千円				
	一般財源	千円		164	30	
	事業費計(A)	千円		3,664	8,930	
	人件費	人		4	4	
	正規職員従事人数	時間		450	200	
	延べ業務時間	千円		1,763	779	
	人件費計(B)	千円		5,427	9,709	
	トータルコスト(A)+(B)	千円				

(5)事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
災害前の維持管理体制の確立と、事務の効率化を図る必要がある。	道路パトロールを行ない維持管理に努めている。 測量設計については外部委託を行い、事務の軽減を図った。	生活に直結する市道、河川護岸の災害については、早急な復旧が望まれている。

事務事業名	公共土木施設災害復旧事業(H24単独災)	所属部	建設部	所属課	建設事業課
-------	----------------------	-----	-----	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？ 意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である * 余地がある場合⇒		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	早期復旧のためには測量設計の外部委託による事務の効率化を図っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	道路河川の復旧ができず利用者の利便性、安全性の確保ができない。
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？				
D 公平性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	理由	(具体的な手段や類似事業名)	
	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる			
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	国の復旧すべき施設が事業により異なるため統廃合は難しい。		
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		原形復旧が原則であり、復旧工法も経済比較により決定している。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？			
D 公平性	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由	すでに測量設計など業務委託を行っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由	市管理の道路、河川であり住民負担はない。
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である			
① 1次評価者としての評価結果				
評価 の 総 括	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
	B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
② 1次評価結果の総括(根拠と理由)		災害発生から復旧工事まで効率的に業務進捗するよう心掛けている。河川や道路については日常の道路パトロールで維持管理記録を残す必要がある。		
C 効率性		<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
D 公平性		<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		② 改革・改善による期待成果																			
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	●	×	低下	×	×
	コスト																				
	削減	維持	増加																		
成果	向上																				
	維持	●	×																		
	低下	×	×																		
災害復旧事業は異常気象によるものであるため、事業量の把握は困難であるが、業務委託により事務の効率化を図ることは必要である。		<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																			